



2021年12月14日

各 位

名古屋市中村区亀島二丁目13番8号
明治電機工業株式会社
代表取締役社長 杉脇弘基
(コード番号：3388 東証第一部)
問合せ先： 管理部長 渥美芳英
(TEL 052-451-7661)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成し、東証へ提出しましたので、お知らせいたします。

記

○当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており一日平均売買代金については基準を充たしておりません。当社は、一日平均売買代金に関して、2025年3月期までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)	一日平均 売買代金 (億円)
当社の状況 (移行基準日時点)	77,514 単位	109 億円	64.2%	0.1 億円
上場維持基準	20,000 単位	100 億円	35%	0.2 億円
計画書に 記載の項目				○

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

当社の上場維持基準適合に向けた取組は、2021年5月14日に開示しました第10次中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）に基づき、企業価値の向上を実現していくことを基本方針として進めてまいります。また、当社はB to Bビジネスが中心であり、一般的な認知度が低い状況であることから、IR活動を強化することにより、売買代金を含め上場維持基準を安定的に充たしてまいります。

① 企業価値の向上

当社は、1920年7月、モーター修理と電気材料の販売を目的とする合資会社明治商会として誕生し、昨年創立100周年を迎えました。長い歴史に培われた専門性とグループ内に蓄積された知見ノウハウを駆使して、日本の生産現場における様々な課題に対応し、モノづくりの進化に貢献してまいりました。

現在、第10次中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）に基づき、顧客の変化に応じた「新たな価値創造」を目指すと共に、自らが課題抽出と解決に取り組続ける「自ら考え考動する」自律的な企業文化の醸成に努めており、本中期経営計画を着実に実行することで、業績拡大と企業価値の向上を図ってまいります。

第10次中期経営計画（2022年3月期～2024年3月期）

基本方針：「新たな価値創造」と「自ら考え考動する」

（1）主要施策

- 自動車ビジネス強化に向けた体制整備
東日本エリアにおける体制整備、事業戦略室を中心に成長戦略を立案
- ものづくりにおけるカーボンニュートラルへの貢献
お客様の工場CO2削減提案、水素ビジネスの拡大
- エンジニアリング事業の競争力強化
システム案件対応力、検査機・専用機ビジネスの強化
- 海外ビジネスの拡大
海外拠点に対する支援の強化、協業メーカーの探索
- 新たな価値創造に向けた経営基盤の確立
営業力・営業技術力強化、DX推進、社内活性化など

（2）第10次中期経営計画経営指標（連結）

	2021年3月期	2024年3月期
売上高	639億円	800億円
営業利益	18.9億円	33.1億円
営業利益率	3.0%	4.1%
経常利益	21.6億円	34.9億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	15.1億円	24.5億円
ROE	6.4%	8%以上

② IR活動の強化

新たな体制による事業戦略の推進を柱に積極的なIR活動を行うことで認知度を高めていくなど、株式の流動性向上に努めてまいります。

- 投資家向け情報誌への掲載（2021年7月実施）
- 機関投資家との対話（随時）
- 個人投資家向けIRフェアへの参加（2022年1月予定）等

以上